

# 必ず一度は、肝炎ウイルス検査

**高**知県で肝炎ウイルスに感染している人は、B型・C型合わせて、推定約2万人。過去の同一注射針による集団予防接種や輸血など、誰もが感染の可能性があります。感染をそのままにしていると、肝がんを発症することもあります。

必ず一度、「肝炎ウイルス検査」で自分の体を確認しておきましょう。

**沈**黙の臓器とも呼ばれる、肝臓。感染しても自覚症状がほとんどありません。検査で早期に発見し、適切な治療によって、肝がんへの進行を防ぐことが大切です。これからの人生を自分らしく生きるために、肝炎ウイルス検査を受けましょう。

## 無料検査を実施中！

簡単な採血検査で、わずかな時間で済みます。結果は、実施後数週間で分かります。

無料検査は県内委託医療機関（約350カ所）やお近くの高知県福祉保健所、高知市保健所で受けられます。医療機関名は県のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/>

感染が発見された場合は、専門医で適切な治療を受けることが大切です。治療に対する医療費の助成制度があります。

肝炎の早期発見・早期治療で、肝がん予防が可能。  
必ず一度、「B型・C型肝炎ウイルス検査」を！！

## ウイルス性肝炎は、どんな病気？

国内最大級の感染症です。肝炎は肝臓に炎症が起きている状態で、肝炎ウイルスに感染して、肝臓の細胞が壊れていく病気です。肝炎ウイルスには複数の型がありますが、国内の肝炎ウイルスはほとんどがB型とC型です。40歳以上に肝炎ウイルスの感染者が多く見られます。

## 肝炎ウイルスの感染と症状

肝炎ウイルスは血液や体液を介して感染するため、過去の同一注射針による集団予防接種や輸血などにより、誰もが感染の可能性があります。感染しても自覚症状がほとんどなく、「体がだるい」と気付くころには、かなり重症になっています。

## 感染を予防するには

他人の血液に安易に触れないようにすることが重要です。ただし、日常生活で感染することはまずありません。（くしゃみ、せき、抱擁、食べ物、飲み物、食器やコップの共用などでは感染しません。）

### 〈感染予防の主な注意事項〉

- 菌ブラシやひげそり、ピアスなど血液の付着する可能性のある物は共有しない。
- 血液や分泌物の付着した物はむき出しにならないようにしっかりと包んで捨てる。

もしも検査で陽性の結果が出たら、  
専門医で治療を！！

## ウイルス性肝炎の治療

専門医のもと、定期検査や適切な治療を受け、肝硬変や肝がんへの進行を抑制することが大切です。インターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療によって、その後の肝硬変、肝がん等の重篤な状態を防ぐことが可能です。治療が必要なときには、医療費の助成制度があります。

### 〈医療費の助成制度〉

#### 医療費助成の対象となる治療

- B型又はC型肝炎ウイルスのインターフェロン治療
- B型肝炎ウイルスの核酸アナログ製剤治療

## 自己負担額(月額)

- ・世帯の市町村民税(所得割)課税年額が23万5千円未満の場合→自己負担上限額1万円
- ・世帯の市町村民税(所得割)課税年額が23万5千円以上の場合→自己負担上限額2万円

問い合わせ 中央西福祉保健所 ☎ 0889-22-1240 高知県健康政策部健康対策課 ☎ 823-9677

### ■ 人権擁護委員無料相談のご案内

地区	今月の相談日	相談時間	開催場所
伊野	10月5日(水)	14:00~17:00	サロンふれあい(すこやかセンター伊野内)
	10月19日(水)		

### ■ 法務局相談窓口・問い合わせ

(祝休日を除く月曜日から金曜日まで 受付8:30~17:00)

高知地方法務局いの支局(いの町1290-4)	893-0343
------------------------	----------

### ■ 人権擁護委員の連絡先

氏名	住所	電話番号
杉本 寛子	いの町6466-5	892-2513
尾崎 正敏	〃 神谷817	893-5452
藤木 栄子	〃 天王南9-12-2	891-6684
杉本 善雄	〃 枝川2881	893-3717
高瀬 科子	〃 波川610-3	892-3635
曾我 定子	〃 下八川丙644-1	867-3224
山本 周児	〃 戸中81-5	873-5422